



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日  
東

上場会社名 株式会社ファインセンター 上場取引所  
 コード番号 5994 URL http://www.fine-sinter.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 児玉 将芳 (TEL) 0568-88-4355  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,343	3.8	1,009	185.2	938	172.8	519	251.6
27年3月期第2四半期	18,635	3.2	354	△36.8	343	△41.7	147	△59.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △198百万円( -%) 27年3月期第2四半期 606百万円(△55.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	23.59	—
27年3月期第2四半期	6.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	41,084	16,999	37.1
27年3月期	40,339	17,445	38.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 15,255百万円 27年3月期 15,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	5.2	1,500	27.1	1,200	2.1	700	27.3	31.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	22,100,000株	27年3月期	22,100,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	88,296株	27年3月期	84,409株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	22,014,043株	27年3月期2Q	22,018,036株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国をはじめ先進国が順調に推移したのに対し、中国および東南アジアを中心に新興国の景気減速が一層顕著となりました。

わが国の経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復が続きました。

一方、当社製品の主要市場である自動車産業におきましては、国内市場では軽自動車税増税の影響等もあり販売台数が減少しており、また、海外市場でも米国の利上げや中国の市場縮小など懸念材料が多く、下期の動向は予断を許さない状況であります。

こうした状況の中、当社グループは海外を中心に新規品の立上げが収益に寄与しはじめるとともに、国内では高効率な生産体制の構築およびロス低減活動などの原価改善を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は19,343百万円と前年同四半期に比べ708百万円(3.8%)の増収となり、営業利益は1,009百万円と前年同四半期と比べ655百万円(185.2%)の増益、経常利益は938百万円と前年同四半期と比べ594百万円(172.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は519百万円と前年同四半期と比べ371百万円(251.6%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、国内における売上は減少傾向ではありますが、米国および中国での無段変速機用部品等、新規品の立上げなどで堅調に推移しました。また、鉄道車両用部品につきましては、新開発の新幹線用ブレーキライニングを受注するなど売上高が増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,457百万円と前年同四半期と比べ814百万円(4.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)につきましては1,609百万円と前年同四半期と比べ689百万円(74.8%)の増益となりました。

## ②油圧機器製品事業

北米医療業界の景気低迷・医療機器メーカーの在庫調整により、輸出減少が拡大しました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は881百万円と前年同四半期と比べ105百万円(10.7%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)につきましては、241百万円と前年同四半期と比べ33百万円(12.3%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比855百万円増)等により、16,289百万円(前連結会計年度末比969百万円増)となりました。固定資産につきましては、株価の下落による投資有価証券の評価額の減少(前連結会計年度末比346百万円減)等により、24,795百万円(前連結会計年度末比224百万円減)となりました。

以上により、資産合計は41,084百万円(前連結会計年度末比745百万円増)となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加(前連結会計年度末比1,103百万円増)等により、16,231百万円(前連結会計年度末比1,200百万円増)となりました。固定負債につきましては、7,854百万円(前連結会計年度末比9百万円減)となりました。

この結果、負債合計は24,085百万円(前連結会計年度末比1,191百万円増)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が299百万円増加、その他の包括利益累計額が723百万円減少したことにより、非支配株主持分を除くと15,255百万円(自己資本比率37.1%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,031,814	3,887,721
受取手形及び売掛金	7,966,331	7,835,410
電子記録債権	452,701	649,496
商品及び製品	562,067	511,734
仕掛品	1,347,135	1,336,062
原材料及び貯蔵品	1,255,434	1,239,215
繰延税金資産	415,104	498,602
その他	288,865	330,996
流動資産合計	15,319,455	16,289,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,324,263	12,248,393
減価償却累計額	△6,887,896	△7,005,318
建物及び構築物(純額)	5,436,366	5,243,074
機械装置及び運搬具	38,784,852	38,751,654
減価償却累計額	△30,050,893	△30,119,004
機械装置及び運搬具(純額)	8,733,958	8,632,649
工具、器具及び備品	5,983,263	6,243,448
減価償却累計額	△4,927,285	△5,135,111
工具、器具及び備品(純額)	1,055,978	1,108,336
土地	3,612,661	3,555,532
リース資産	1,343,962	1,382,167
減価償却累計額	△649,736	△703,228
リース資産(純額)	694,225	678,939
建設仮勘定	1,570,867	2,147,722
有形固定資産合計	21,104,058	21,366,255
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	116,968	93,264
その他	167,507	153,204
無形固定資産合計	295,883	257,876
投資その他の資産		
投資有価証券	2,516,946	2,170,141
長期貸付金	20,574	15,603
繰延税金資産	920,270	867,036
その他	172,830	128,917
貸倒引当金	△10,265	△10,265
投資その他の資産合計	3,620,357	3,171,433
固定資産合計	25,020,299	24,795,564
資産合計	40,339,754	41,084,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,615,562	5,602,121
短期借入金	4,441,696	5,544,801
1年内返済予定の長期借入金	1,583,048	1,552,385
リース債務	190,808	189,964
未払法人税等	170,944	254,578
未払消費税等	401,121	152,647
未払費用	643,331	685,462
繰延税金負債	4,244	4,482
賞与引当金	870,008	923,500
役員賞与引当金	29,318	16,565
設備関係支払手形	376,716	443,593
その他	703,323	860,901
流動負債合計	15,030,123	16,231,003
固定負債		
長期借入金	3,429,695	3,485,000
リース債務	754,107	708,061
役員退職慰労引当金	101,940	78,940
退職給付に係る負債	3,266,209	3,262,413
資産除去債務	307,788	315,169
その他	3,988	4,650
固定負債合計	7,863,729	7,854,236
負債合計	22,893,853	24,085,240
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,722,945
利益剰余金	9,731,813	10,030,881
自己株式	△26,653	△28,046
株主資本合計	13,631,105	13,928,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,175,552	942,600
為替換算調整勘定	1,023,297	498,800
退職給付に係る調整累計額	△148,656	△115,045
その他の包括利益累計額合計	2,050,193	1,326,356
非支配株主持分	1,764,602	1,744,429
純資産合計	17,445,901	16,999,565
負債純資産合計	40,339,754	41,084,805

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,635,457	19,343,732
売上原価	16,431,412	16,468,608
売上総利益	2,204,045	2,875,123
販売費及び一般管理費	1,849,963	1,865,375
営業利益	354,081	1,009,748
営業外収益		
受取利息	4,466	5,036
受取配当金	27,754	31,990
為替差益	40,318	—
作業くず売却収入	21,711	12,774
雑収入	35,898	47,186
営業外収益合計	130,149	96,989
営業外費用		
支払利息	97,790	111,323
固定資産除却損	15,356	7,543
為替差損	—	44,667
雑支出	27,101	4,809
営業外費用合計	140,248	168,344
経常利益	343,983	938,393
税金等調整前四半期純利益	343,983	938,393
法人税等	181,215	330,280
四半期純利益	162,767	608,112
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,083	88,889
親会社株主に帰属する四半期純利益	147,683	519,223



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	162,767	608,112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137,595	△231,750
為替換算調整勘定	290,673	△608,288
退職給付に係る調整額	15,017	33,489
その他の包括利益合計	443,287	△806,550
四半期包括利益	606,054	△198,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548,939	△203,514
非支配株主に係る四半期包括利益	57,115	5,077

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,643,217	986,491	18,629,708	5,748	18,635,457	—	18,635,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,643,217	986,491	18,629,708	5,748	18,635,457	—	18,635,457
セグメント利益	920,729	275,325	1,196,054	1,202	1,197,257	△843,175	354,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△843,175千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,457,340	881,267	19,338,607	5,124	19,343,732	—	19,343,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	18,457,340	881,267	19,338,607	5,124	19,343,732	—	19,343,732
セグメント利益	1,609,734	241,566	1,851,301	1,115	1,852,416	△842,668	1,009,748

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。

2 セグメント利益の調整額△842,668千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。